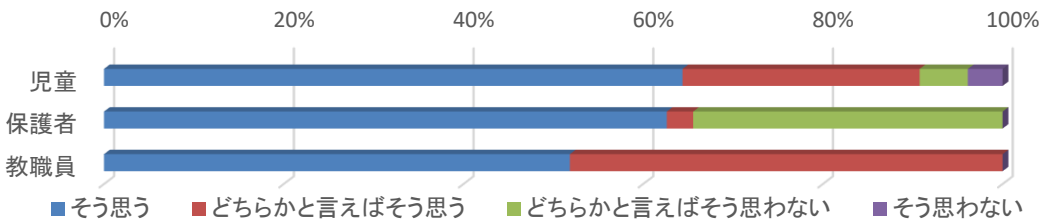


令和8年 鷹岡小学校 前期 学校評価まとめ

1 学校生活全般について

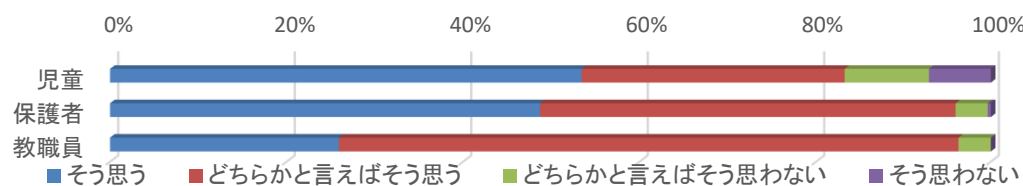
①【保護者】【教職員】子供は、学校に楽しく通っている。
【児 童】学校は楽しい。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	64%	26%	5%	4%
保護者	63%	3%	34%	0%
教職員	52%	48%	0%	0%



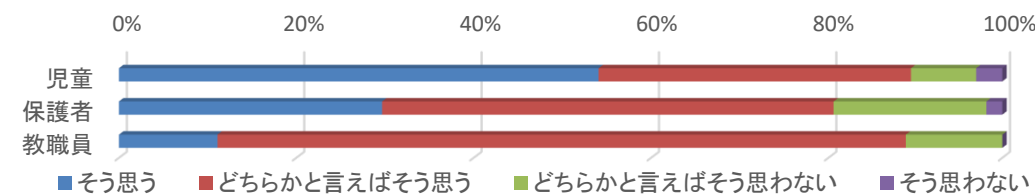
②【保護者】【教職員】子供は、自分にはよいところがあると思っている。
【児 童】自分には、よいところがあると思う。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	53%	30%	10%	7%
保護者	49%	47%	4%	0%
教職員	26%	70%	4%	0%



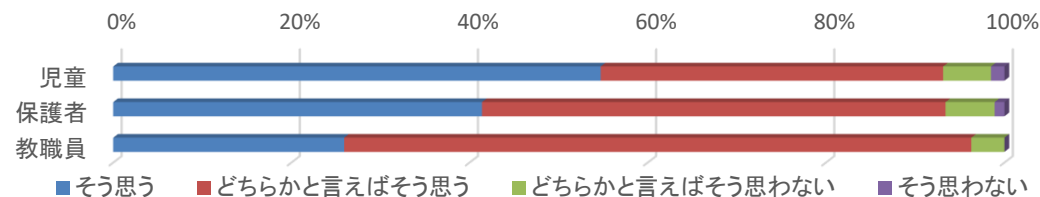
③【保護者】【職員】子供は、普段から進んで学習や運動をしようとしている。
【児 童】進んで、勉強や運動をしている。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	54%	35%	8%	3%
保護者	30%	51%	18%	2%
教職員	11%	78%	11%	0%



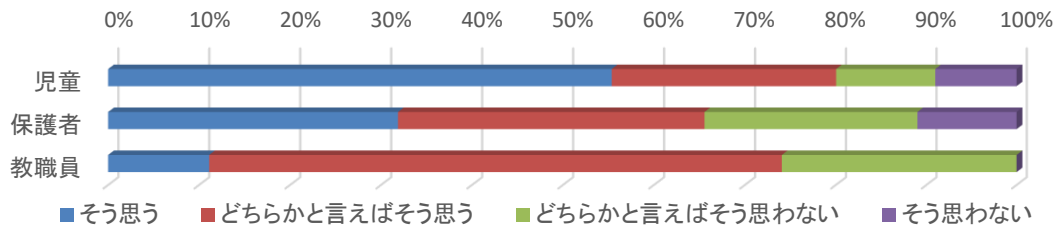
④【保護者】【職員】子供は、友達の思いを受け止めたり、優しく声を掛けたりすることができる。
【児 童】友達の気持ちを考えて、優しく言葉を掛けたりすることができる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	55%	38%	5%	2%
保護者	41%	52%	5%	1%
教職員	26%	70%	4%	0%



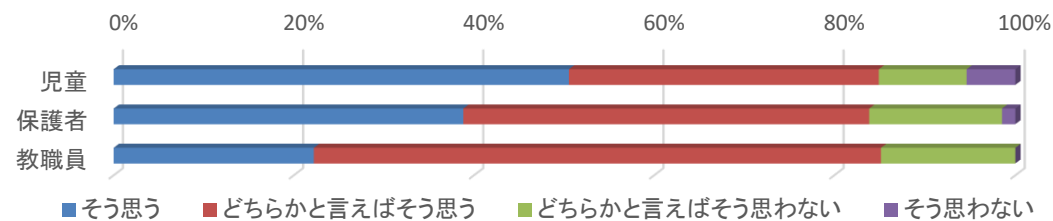
⑤【保護者】【教職員】子供は、読書を楽しんでいる。
【児 童】読書は楽しい。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	55%	25%	11%	9%
保護者	32%	34%	23%	11%
教職員	11%	63%	26%	0%



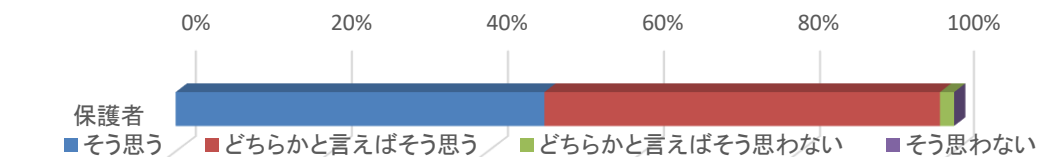
⑥【保護者】【教職員】子供は、家庭学習を工夫して頑張っている。
【児 童】家での学習を工夫して頑張っている。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	51%	34%	10%	5%
保護者	39%	45%	15%	1%
教職員	22%	63%	15%	0%



⑦【保護者】鷹岡小は、安心して子供を任せられる学校である。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
保護者	47%	51%	2%	0%



〈考 察〉

設問①「学校は楽しい（子供は、学校は楽しいと思っている）」に肯定的な回答（そう思う・どちらかというと思う）をした児童は、90%となり、昨年度と同様90%を上回りました。子供たちが「学校が楽しい」と思ってくれることが、教職員にとって何より嬉しいことです。今後も、子供たちが楽しいと思える学校を目指して教職員全員で努力してまいります。

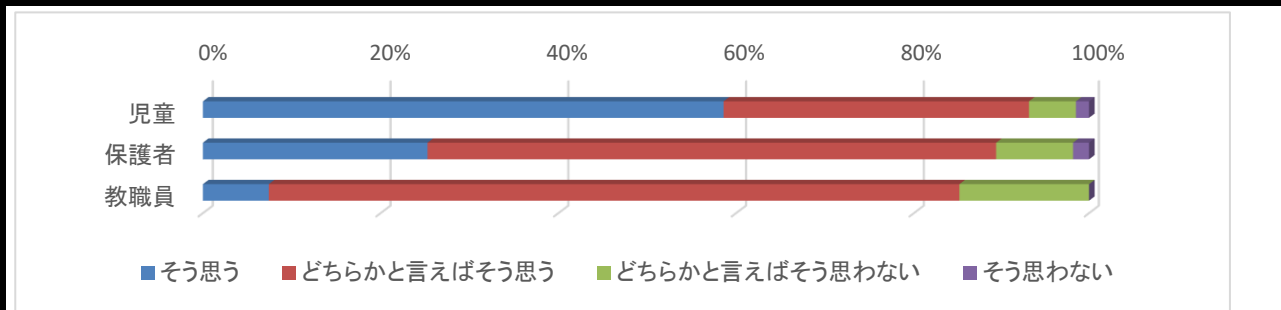
設問②「自分には、よいところがある」の回答については、昨年度初めて児童の肯定的な回答が80%を越え、今年度は83%とさらに高い値となりました。また、設問④「友達の気持ちを考えて、優しく話すことができる」の肯定的な回答も、昨年度の88%から93%へと大きく上昇しており、鷹岡小学校の児童が自分や友達のよいところに気づき、前向きに生活できていることが分かります。今年度の重点目標「自分も仲間も大切にする子」のもと、一人一人の児童を大切に、互いのよいところを認め合う学校・学級づくりを進めており、これらの実践の成果が上がってきていることは大変嬉しく思います。

設問③「進んで、勉強や運動をしている」についても、昨年同様89%という高い値となりました。鷹岡中学校区小中一貫教育目標である「自ら学ぶ子」を目指すうえで、とても頼もしい結果であると感じます。引き続き、子供たちが様々な活動に「進んで」取り組めるよう、学校全体で支えていきます。

2 学習面について

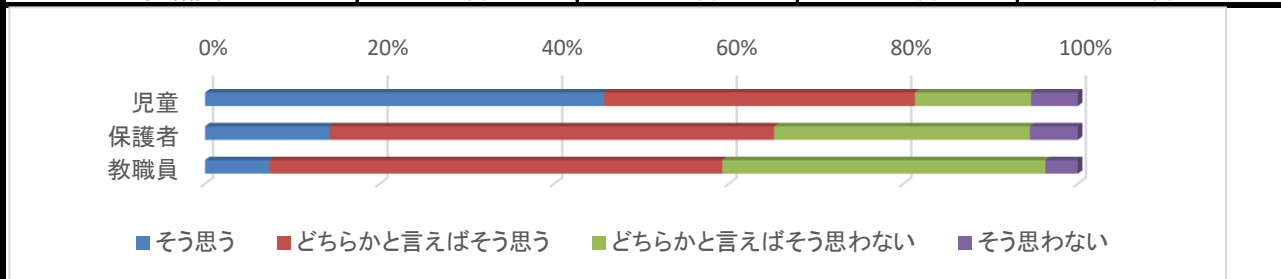
- ⑧【保護者】【教職員】子供は、授業で勉強したことが分かっている。
【児 童】授業で学習したことがわかる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	59%	35%	5%	2%
保護者	25%	64%	9%	2%
教職員	7%	78%	15%	0%



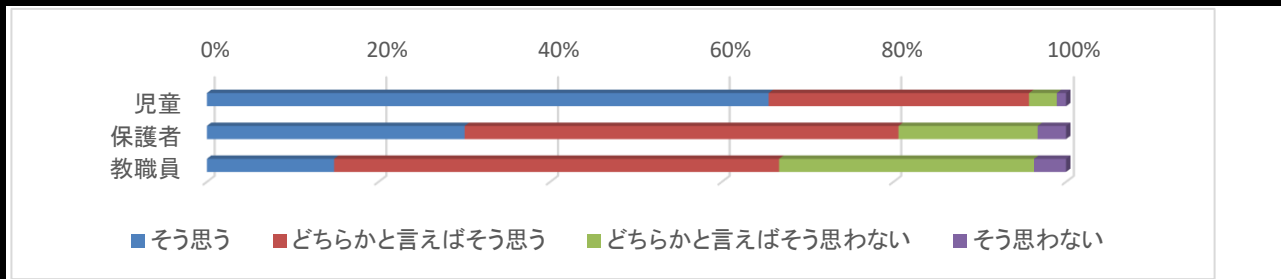
- ⑨【保護者】【教職員】子供は、自ら問題を見付け、工夫して粘り強く解決しようとしている。
【児 童】授業では自分で見つけた「はてな」をじっくり考えている。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	46%	36%	13%	5%
保護者	14%	51%	29%	5%
教職員	7%	52%	37%	4%



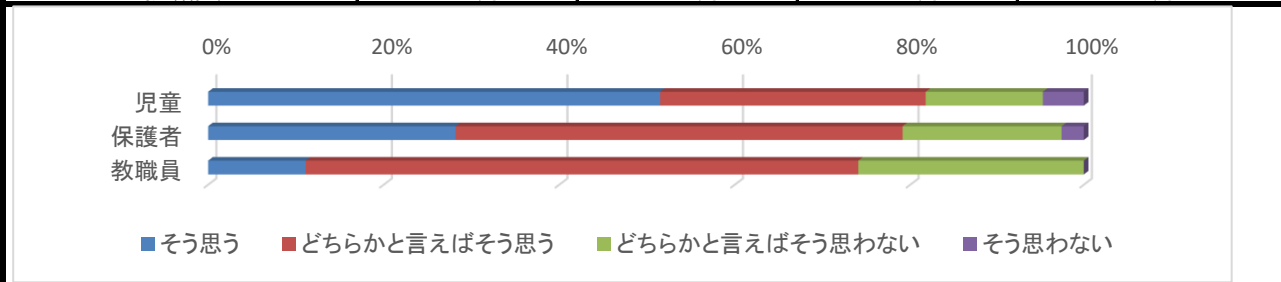
- ⑩【保護者】【教職員】子供は、相手の話に心を傾けて聴くことができる。
【児 童】友達や先生の話に心を傾けて聴いている。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	65%	30%	3%	1%
保護者	30%	51%	16%	3%
教職員	15%	52%	30%	4%



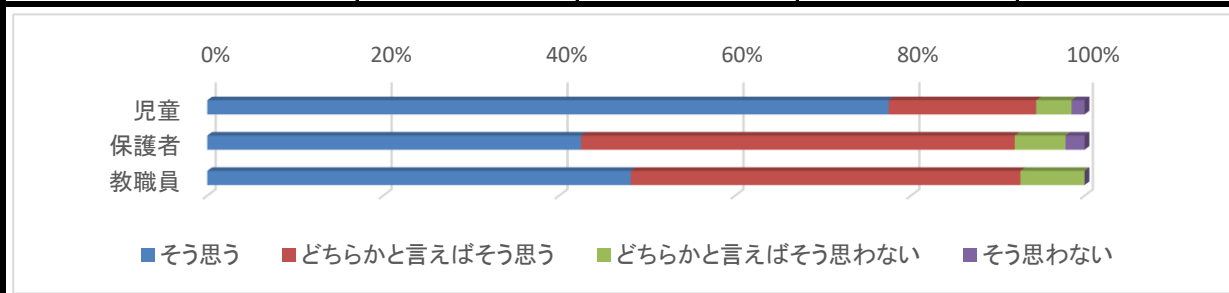
- ⑪【保護者】【教職員】子供は、自分の考えを伝えることができる。
【児 童】自分の考えを友達や先生に伝えられる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	52%	30%	14%	5%
保護者	28%	51%	18%	3%
教職員	11%	63%	26%	0%



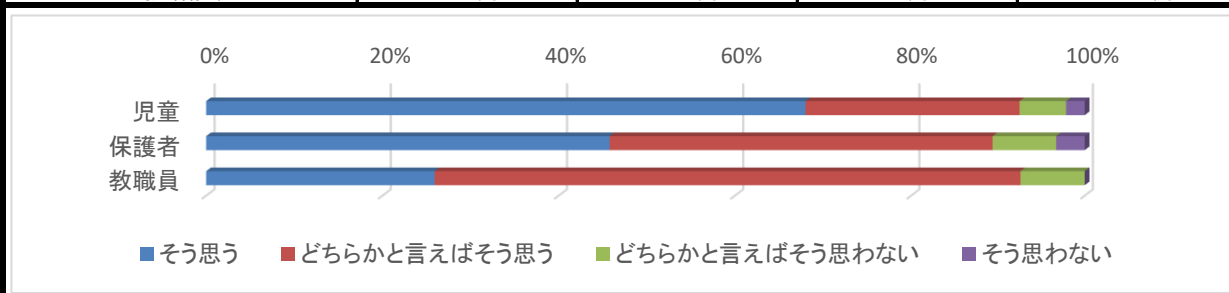
- ⑫【保護者】【教職員】子供は、友達との学習を楽しんでいる。
【児 童】友達と一緒に勉強することは楽しい。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	77%	17%	4%	2%
保護者	42%	49%	6%	2%
教職員	48%	44%	7%	0%



- ⑬【教職員】【保護者】子供は、授業中、パソコンやプロジェクターを使ったり、カメラ機能を使ったりして学習している。
【児 童】授業中、パソコンやプロジェクターを使ったり、カメラ機能を使ったりして学習している。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	68%	24%	5%	2%
保護者	46%	44%	7%	3%
教職員	26%	67%	7%	0%



〈考 察〉

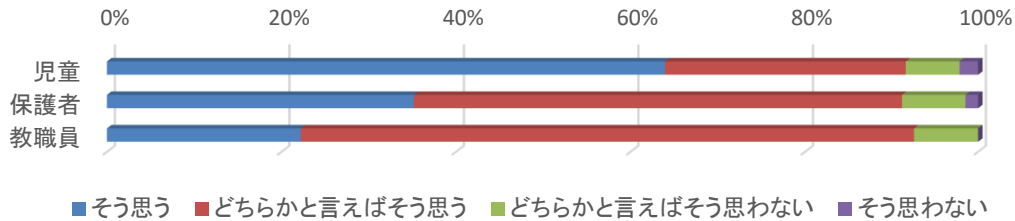
設問⑧「授業で学習したことが分かっている」に対する子供たちの肯定的な回答の割合は94%と、昨年度より高い値となりました。また、設問⑫「友達と一緒に勉強することは楽しい」も、肯定的な回答が94%と高い値となりました。鷹岡小では「誰一人取り残さない授業づくり」を掲げており、学びを楽しむ子の育成に向けて、子供たちに対し丁寧な指導・支援を心掛けた授業を実践しています。さらに、友達との対話の場面を重視したり、タブレットを中心としたICT活用の授業を進めたりしています。子供たち一人一人にとって分かりやすい授業づくりに、今後も継続して取り組んでまいります。

一方で、設問⑨「授業では自分で見つけた「はてな」をじっくり考えている（問題を見付け、工夫して粘り強く解決しようとしている）」では、子供たちの肯定的な回答が昨年度同様82%となっています。高い値ではありますが、保護者や教員の評価はそこまで高い数値ではないという傾向は昨年度と同様です。大人の目から見ても、子供たちが自分ごととして真剣に課題に向き合い、目を輝かせながら、じっくりと、粘り強く学びを深めていく姿が認められるような授業を目指していきます。

3 学校教育活動について

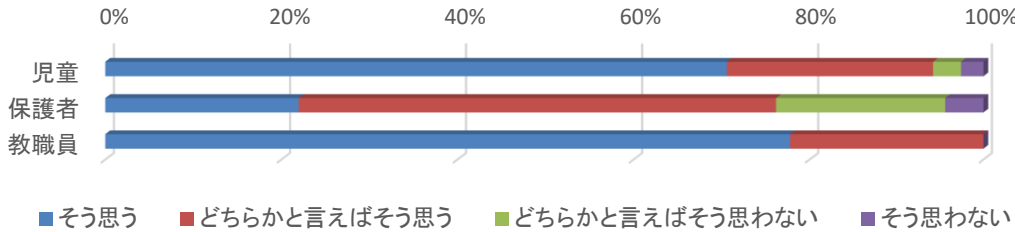
- ⑭【保護者】【教職員】子供は、「自分も仲間も大切にする子」を意識して生活している。
【児 童】「自分も仲間も大切にする子」を意識して生活している。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	64%	28%	6%	2%
保護者	35%	56%	7%	1%
教職員	22%	70%	7%	0%



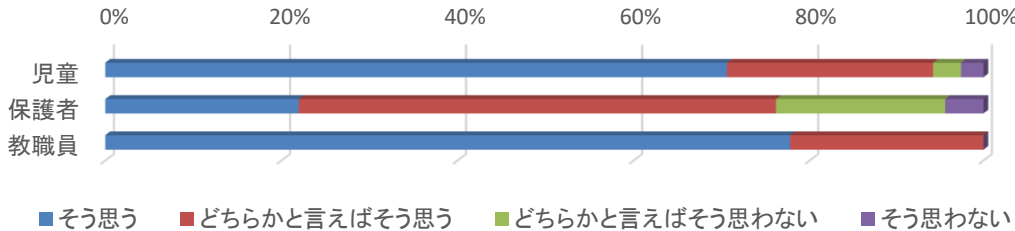
- ⑮【保護者】【教職員】学校は、子供の悩みや相談に親身になって応じている。
【児 童】先生は、困っていることや、悩んでいることをしっかりきいてくれる。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	71%	24%	3%	3%
保護者	22%	54%	19%	4%
教職員	78%	22%	0%	0%



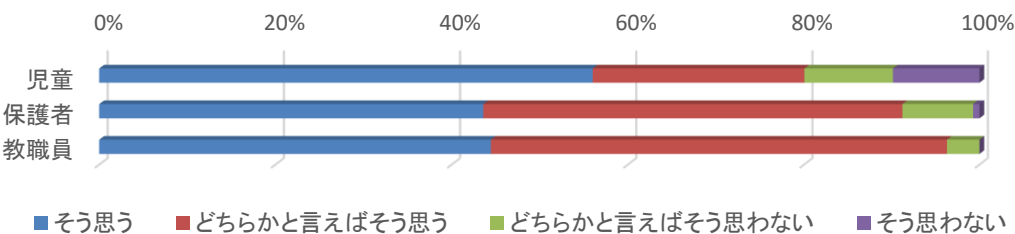
- ⑯【保護者】【教職員】子供の、よいところを認め、ほめている。
【児 童】先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。

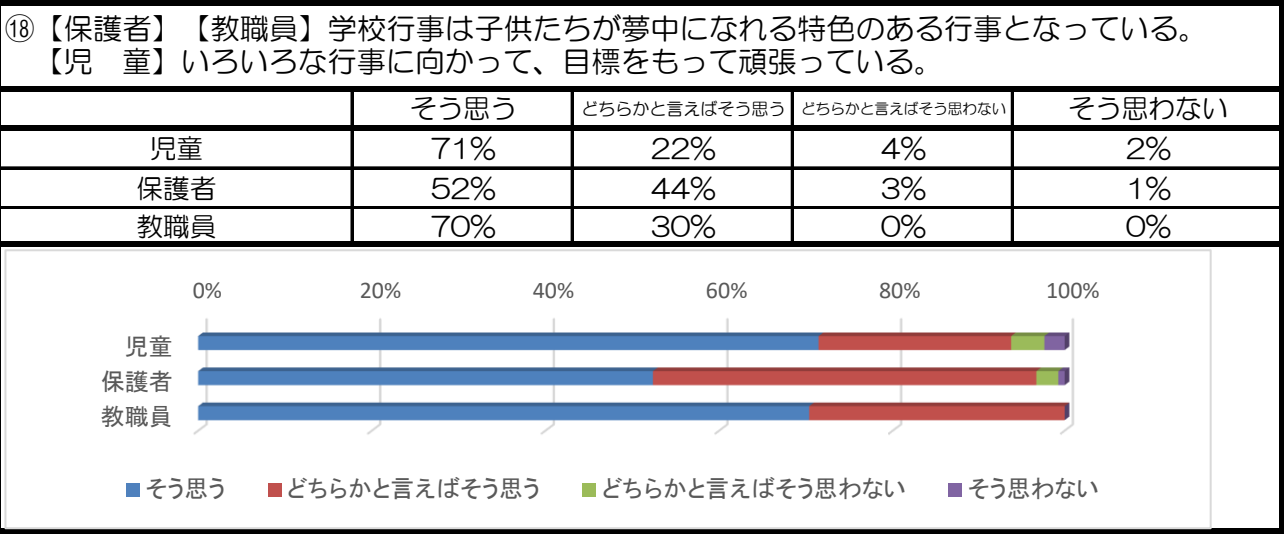
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	73%	21%	2%	3%
保護者	43%	55%	1%	0%
教職員	67%	33%	0%	0%



- ⑰【保護者】【教職員】お便りや担任からの連絡、学校行事への参加等により学校の様子がよく分かる。（情報提供できている。）
【児 童】学校のことを、家でよく話す。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	56%	24%	10%	10%
保護者	44%	48%	8%	1%
教職員	44%	52%	4%	0%





⑱【保護者】【教職員】学校の施設、設備は安全に過ごすことができる。 【児 童】学校は、安全・安心に過ごすことができる。				
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児 童	67%	25%	6%	2%
保護者	48%	50%	1%	0%
教職員	67%	33%	0%	0%

Category	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児 童	67%	25%	6%	2%
保護者	48%	50%	1%	0%
教職員	67%	33%	0%	0%

⑳【保護者】【教職員】子供は、緊急時に自分の命を守るために適切な判断と正しい行動をとることができる。 【子供】緊急事態が起きたときに、自分の命を守るため、どうすればよいか考えたり、行動したりすることができる。				
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児 童	71%	22%	4%	2%
保護者	19%	66%	13%	3%
教職員	59%	37%	4%	0%

Category	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児 童	71%	22%	4%	2%
保護者	19%	66%	13%	3%
教職員	59%	37%	4%	0%

| 〈考 察〉 設問⑱「子供のよいところを認め、ほめている」について、保護者の肯定的な回答が昨年度を大幅に上回る98%という結果となり、ご家庭でもお子様の様子をありのままに受け止め、励ましていただいていることが分かりました。学校の教職員も引き続き前向きな言葉で、子供たちのよいあらわれを見付けていきますので、家庭と学校の両面から子供たちの自己肯定感を高めていければと思います。 設問⑳「いろいろな行事に向かって、目標を持って頑張っている」については、93%というとても多くの肯定的な回答がありました。前期には「松風まつり」を行い、子供が自分たちでお店を出し、お客さんに楽しんでもらうという大きな経験をすることができました。準備の段階から、子供たちの目は輝いていました。大勢の保護者の方に参観に来ていただいたことも、子供たちのやる気に火をつけた要因となったはずです。後期に入るとすぐに「鷹っ子スポーツday」があります。こちらダンスや学年種目に一生懸命取り組んでいます。鷹岡小の子供たちがこうした行事を通して大きく成長できるよう、1つ1つの機会をできる限り子供に委ねながら、これからも取り組んでいきます。 設問㉑「緊急時に自分の命を守るために適切な判断と正しい行動をとることができる」については、子供たちの肯定的な回答が93%と高い値となりました。夏休み中に起こった熊本県での地震や千葉県での集中豪雨など、改めて自然災害の恐ろしさを感じたのではないのでしょうか。9月に実施された避難訓練においても、大地震が起こった場合の対応の仕方についての話が各クラスで担任からあり、真剣に聞き入る子供たちの姿がありました。子供たちの意識を高め、緊急時に適切な対応ができるよう引き続き指導していきます。あわせて、各ご家庭においても緊急時の待ち合わせ場所や地震発生時、家に戻るか学校に避難するか判断する地点の確認など、お子様と確認していただけるとよいと思われます。 | | | | |

4 コミュニティスクール、小中一貫について				
②①【保護者】【教職員】地域の皆様や団体の方が学校の教育活動に関わることは、子供たちにとってよい効果が表れている。 【児 童】地域の方が見守りをしたり、お手伝いをしたりしに来てくれることは、あなたにとってよいことです。				
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児 童	78%	17%	3%	2%
保護者	33%	63%	4%	0%
教職員	63%	37%	0%	0%

Category	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児 童	78%	17%	3%	2%
保護者	33%	63%	4%	0%
教職員	63%	37%	0%	0%

②②【保護者】【教職員】子供たちは、三校（鷹小、天間小、鷹中）合同で行っているエンジョイストップメディアキャンペーンを意識して取り組んでいる。 【児 童】三校（鷹小、天間小、鷹中）合同で行っているエンジョイストップメディアキャンペーンを意識して取り組んでいる。				
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児 童	55%	30%	7%	7%
保護者	17%	50%	26%	7%
教職員	41%	37%	22%	0%

Category	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児 童	55%	30%	7%	7%
保護者	17%	50%	26%	7%
教職員	41%	37%	22%	0%

②③ 鷹小スリースター（明るいあいさつ・きれいな学校・絆を深める）についての質問です。 【教職員】子供は、明るいあいさつができています。 【児 童】明るいあいさつができています。				
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児 童	65%	24%	8%	3%
教職員	26%	70%	4%	0%

Category	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児 童	65%	24%	8%	3%
教職員	26%	70%	4%	0%

②④ 鷹小スリースター（明るいあいさつ・きれいな学校・絆を深める）についての質問です。 【教職員】子供は、きれいな学校にむけて、清掃ができています。 【児 童】きれいな学校にむけて、掃除ができています。				
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	62%	30%	6%	2%
教職員	19%	63%	19%	0%
■ そう思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ どちらかと言えばそう思わない ■ そう思わない				
②⑤ 鷹小スリースター（明るいあいさつ・きれいな学校・絆を深める）についての質問です。 【教職員】子供は、相手の気持ちを考えた言動をとったり、縦割り活動を通して仲間と楽しく過ごしたりと絆を深めることができています。 【児 童】友達の気持ちを考えたり、縦割り活動等を通してみんなと楽しく過ごしたりと絆を深めることができています。				
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
児童	68%	27%	4%	2%
教職員	15%	67%	19%	0%
■ そう思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ どちらかと言えばそう思わない ■ そう思わない				
〈考 察〉 設問②④の児童、保護者、教職員いずれも評価がとても高いことから、子供たちが地域の皆様に支えられて安心安全に充実した学校生活を送れていることが分かります。今年度7年目となったCS（コミュニティスクール）ですが、子供たちの登下校の見守りや遠足の引率、園芸や学習の手伝いなど、様々な場面で地域の方のお力をお借りしながら教育活動を進めており、CSが鷹岡小学校に完全に根付いたと言えます。今後も、CSディレクターを中心に、CSボランティアの輪が広がり学校と地域の皆様とのつながりが広がっていくことで、地域に開かれた学校を目指してまいります。 設問②⑤のエンジョイストップメディアキャンペーンの取組についてですが、例年と同様、今年度も児童の評価と保護者・教職員の評価には乖離が見られました。大人たちが心配しているほど子供たちのノーメディアについての意識は高まってきていないのかもしれないかもしれません。この取組についても、鷹岡中学校区3校（鷹岡中・鷹岡小・天間小）で、子供たちの心身の健康や正しい生活習慣の定着や、豊かな時間の過ごし方を見付けるときかけになることを目指して実施しているものです。スクリーンタイムが長くなりすぎないように、学校でも引き続き声掛けを行いますので、ご家庭でのご協力もよろしくお願いいたします。 設問②③④⑤は鷹岡小スリースターについてです。子供たちにとってスリースター（明るいあいさつ・きれいな学校・絆を深める）の目標が自分たちのものになってきていることが評価から分かります。その中で、「明るいあいさつ」については、昨年度よりも肯定的な回答の値がわずかに下がってしまいました。これは、昨年度本校があいさつ運動の指定校だったこともあり、全校的には若干あいさつ熱が下がってしまったのかもしれませんが、朝は元気なあいさつの声が各教室に響き渡り、休み時間などに廊下ですれ違う際には、異学年同士であいさつを交わす光景が日常的に見られます。縦割り活動は、前期に2回行いましたが、異学年と触れ合う貴重な機会となっています。高学年にもなると、普段とは違うお兄さんお姉さんの表情を見せてくれる子もいます。				

5 保護者の皆様からのご意見、ご質問、ご要望について

水筒について、持ち方の指導がありました。が、学童での指導と違う部分があります。学校は肩にかけ、斜めがけは危険、となっていますが、学童では、斜めがけにして背中側に回すよう指導されています。

水筒の持ち方について、学校では「肩にかけ、斜めがけはしない」ことを基本として指導しております。学童の指導とズレが生じていたことについては申し訳ありませんでした。ただ、学校と学童ともに、転倒した際に首や肩に掛けていた水筒がお腹に当たり、内臓を損傷する等の事故が発生しないことを第一に考えて指導を行っております。今後も学童との情報共有を図りながら、児童が混乱することのないよう、安全な持ち方について継続して指導してまいります。

災害時に備えた活動ができれば。たとえば、地域団体や社会福祉協議会等と連携して、災害時の知識を深める活動を行うなど。

今年は熊本県での地震や、千葉県での記録的な豪雨など甚大な被害をもたらす自然災害が日本全国で多く発生しています。昨今のこうした状況下において、今後ますます防災教育の重要性が高まってくるものと予想されます。

本校では、避難訓練や安全指導をはじめ、子供たちが自ら命を守る力を身に付けられるよう取り組んでおります。今後も可能な範囲で内容の工夫や充実を図っていきたいと考えております。一方で、教育課程全体の中で限られた授業時数での運営となるため、実施できる内容には一定の制約があります。防災教育は学校だけでなく、地区の防災訓練に参加するなど、ご家庭や地域との連携も大切です。今後もそれぞれの立場で協力しながら、子供たちの安全意識の向上のため防災教育の充実について検討を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

水泳の授業を外部委託すること、図書室の本をもっと新しいものに変えていくこと

富士市教育委員会では今年度、市内小学校で水泳授業の民間委託に試験的に取り組んでいます。水泳授業の民間委託を試行し、その効果と課題を検証した上で、今後の水泳授業と学校プールの在り方を検討していく予定となっています。このように水泳の授業の外部委託については、市が検討をしている段階であり、予算や移動手段などの課題も解決していく必要があるため、本校のみで判断を行うことができないことをご理解いただければと思います。

学校の図書室の本につきましては、毎年、子供たちに人気のシリーズや、その時に人気のある本を中心に購入しています。また、図書館司書が本屋やブックフェアに足を運び、子供たちに読んでほしい本を選んでいきます。読んでみたい本があるときは、お子様から図書館司書に気軽に「こんな本が読みたい」と声をかけてみてください。

※その他、保護者の皆様からたくさんのご意見やご要望をいただきました。各部会や職員会議などで検討をしています。後期から取り組むべきことは早速取り組み、今後の教育活動への指針となるご意見については、検討の上、来年度の教育課程へ生かしていきたいと考えています。ありがとうございました。